

天皇代替わりを機に天皇制を考える連続企画

日時

2019年4月29日(休) 午後1時半～

場所

イーブルなごや 視聴覚室

●地下鉄名城線「東別院」下車1番出口
から東へ徒歩3分



講師

澤藤統一郎 弁護士



1943年盛岡生まれ。1971年弁護士登録。

元日本民主法律家協会事務局長、元日弁連消費者問題対策委員会委員長、公益財団法人第五福竜丸平和会幹事などを歴任。

著書に『岩手靖国違憲訴訟』新日本出版社(新日本新書1992年)、『日の丸・君が代』を強制してはならない 都教委通達違憲判決の意義』岩波書店(岩波ブックレット2006年)、『前夜 日本国憲法と自民党改憲案を読み解く』(共著・現代書館、2013年)など。

参加費

800円

主催

代替わりを機に天皇制を考えるあいちネットワーク
連絡先:090-6468-5556

いよいよ、4月30日に現天皇の退位、5月1日には新天皇の即位が行われようとしています。政府は代替わりに関わる一連の儀式を先の天皇の即位の儀式を踏襲して行うとしています。しかし、天皇即位の諸儀式が、「国民主権」や政教分離原則に違反すること、また即位後の10月に行われる「大嘗祭」は、神道儀式であり、これに費やされる公金支出は政教分離や信教の自由の原則に違反するなど、様々な問題をはらんでいます。そもそも「天皇制」という制度そのものが、私たちが共有する平和、民主主義、多様性尊重、信教・良心の自由、政治的社会的文化的マイノリティの権利尊重などの価値観と相容れるのでしょうか。

「国民の祝福の中でつつがなく…」行われようとしている代替わりの儀式を機に澤藤さんのお話を聞き、異議あり！の声をあげていきましょう。

第4回

天皇代替わり に異議あり!